

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地							
専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ	平成6年3月23日	椎葉 小夜子	〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾1-13-32 (電話) 092-522-3135							
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地							
学校法人西鉄学園	昭和37年2月27日	高崎 繁行	〒816-0922 福岡県大野城市山田3-12-1 (電話) 092-586-2480							
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士					
商業実務	商業実務専門課程	ホテル・ブライダル科		平成19年文部科学省告示第21号	—					
学科の目的	業界で働く覚悟、国際的なマナーとホスピタリティを身につけ、長期に渡って活躍できる人材を育成する。国内・海外の観光知識、旅行商品知識や旅行手続、接客や営業能力等旅行業者のニーズに沿うべきスキルを身につける。									
認定年月日	平成26年3月31日									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験				
2年	昼間	1996	478	1218	300	0				
						時間				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数					
120	83	3	1人	19	20					
学期制度	■1学期:4月2日～7月31日 ■2学期:9月14日～1月29日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 期末試験もしくは実技試験。 A: 80%以上、B: 60%以上、C: 50%以上、D: 50%未満					
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:8月1日～9月13日 ■冬季:12月22日～1月5日 ■学年末:2月1日～3月31日			卒業・進級条件	進級・卒業判断時に所定の単位以上を取得し、期日までに学費を納入すること。					
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 対面での指導			課外活動	■課外活動の種類 クラス委員長会・行事委員会・ホスピタリティクラブ等 ■サークル活動: 有					
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) ホテル・ブライダル業界 ■就職指導内容 担任及び就職担当教員による指導 ■卒業者数 56 人 ■就職希望者数 55 人 ■就職者数 55 人			主な学修成果(資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報)					
	(令和 元 年度卒業者に関する 令和2年5月1日 時点の情報)				資格・検定名	種	受験者数	合格者数		
					レストランサービス 技能検定	①	56人	51人		
中途退学の現状	■中途退学者 1名 ■中退率 1 % 平成31年4月1日時点において、在学者96名 (平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者95名 (令和2年3月31日卒業者を含む)									
	■中途退学の主な理由									
	意欲減退・進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任、学科長との面談、スクールカウンセラーによる対応									

経済的支援制度	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 IBC特待生制度[授業料の免除]・IBC支援金制度[資格・検定取得者・出席優良者、学業成績優良者等]・西鉄グループ奨学金[奨学金支給]等</p> <p>■専門実践教育訓練給付: 納付対象</p>
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価: 無</p>
当該学科のホームページURL	http://ibc.ac.jp

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください。

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なものの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育の質の保証及び改善をするため、教育活動の状況に関する評価を行い、業界の要請を十分にいかしつつ実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

校務運営規程に基づき科毎に科会を設け、学科長を置き教育の質の保証・改善のために担当科の教育課程編成委員会へ参加し、教育課程編成委員会での審議を各科で検討を行い学内会議を経て採用される。

・校務運営規程第6章 教育課程編成委員会第11条

・校務運営規程第8章 校務分掌第14条

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年11月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
鶴田 勝彦	THE BASICS FUKUOKA 支配人	令和2年4月01日～ 令和4年3月31日	③
梅野 一生喜	株式会社西鉄ホテルズ シティホテル事業本部 宿泊部 グランド宿泊担当 支配人	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
西原 慎太郎	西鉄旅行株式会社 総務部 部長代理	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
清水 妙子	株式会社JALスカイ九州 福岡空港本店 総務部 マネジャー	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
佐竹 恵一	株式会社JALグランドサービス九州 総務部 総務グループ係長	令和2年4月01日～ 令和4年3月31日	③
江口 哲郎	JR九州サービスサポート株式会社 常務取締役 駅事業部長	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
三堀 和弘	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
三浦 芳徳	公益財団法人 産業雇用安定センター 福岡事務所 参与	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、10月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年7月29日 16:30～17:30

第2回 令和2年10月15日 16:30～17:30

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

意見: 今年度新たに取り入れたカリキュラムはあるか。

活用: 「Web広報戦略」や「ブライダルフォト演習」を取り入れた。SNSを使って効果的に情報発信ができる人材育成をしたい。

意見: 専門性よりも汎用性を養ってほしい。

活用: 全般的な知識技術をもった学生を育成するよう努める。

意見: TOEICはホテルで評価している。学校で同じ資格を目指すのではなく選択肢があってもよいのではないか。

活用: 今後前向きに検討する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学校教育に理解があり、後継者育成の一環として実務の経験ができる場を積極的に提供し、学習成果の評価を行う体制をとることが可能な企業を選定している。また、学校が教育している知識や技術等の習得が可能でかつ後継者の育成に力をそそぐ企業への新規開拓も実施している。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習の実施前に打ち合わせを行い実習内容詳細について決定する。実習期間中、担任が各企業を訪問し、学生の学習状況について直接確認するとともに、実習担当者と情報交換を行う。実習終了時には、実習担当者による学生の学習成果の評価をふまえ、担任が単位認定を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
面接対策	就職試験における面接試験に合格できる力を有する。仕上げとして就職模擬面接を実施し目指す企業の人事ご担当者にアドバイスをいなだく	ヒルトン福岡シーホーク
ホテル・ブライダル業界研究	ホテルブライダル業界で活躍される方の講話を聞き目指す将来像について考える	ホテルオークラ福岡
セレモニープロデュースⅠ・Ⅱ	学生による結婚披露宴の企画実施を行う。本番は実際の結婚式場を借りて行う。	アルマリアン福岡
行事Ⅰ	行事によって調和と自己啓発を図る 業界見学ではホテルでのテーブルマナーなどを行う。	ホテル日航福岡
企業実習Ⅰ～X	全国のホテル・旅館にて現場での実習を行い、サービススキルを習得し業界への理解を深める。	西鉄グランドホテル他

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

・4月13日(土)「面接指導」

連携企業: ホテルオークラ福岡 他

連携内容: 学校行事「最終模擬面接」

詳細: 学生に対し本番を想定した面接試験を教職員と共同で実施し、事後 企業側の見方、評価方法をご指導いただく。

・8月1日(火)～3日(木)「新任教員研修」

連携企業: 福岡県専修学校各種学校協会

連携内容: 福岡県専門学校協会主催による新任教員研修を行った。大学で、教育学に関する教鞭をとつておられる教授に専門学校で求められる教員の役割について理論や実践を交えて学んだ。

・8月30日(水)～31日(木)「中堅教員研修会」

連携企業: 職業教育・キャリア教育財団

連携内容: 12時間の講義の受講

詳細: 中堅教員(管理職)にとっての役割とは何かを知り、学校経営のための目標管理や教職員の能力を引き出すための適切な指導助言ができるようになることを目指した。

・9月20日(水)「教育講演会」

連携企業: 進研アド

連携内容: 高専接続セミナー

詳細: 日頃より高校・大学といった教育機関に接することの多い教育関連企業主催の講演会に参加し 昨今の教育現場の動向と今後専門学校に期待される役割について講演いただいた。

研修名「教育現場のコミュニケーションに生かすアドラー心理学」(連携企業等: ヒューマン・キルト)

期間: 令和元年8月6日(火) 対象: 教職員・非常勤講師

内容: 教育現場で生かすことのできるアドラー心理学の内共感や励ましの手法について学んだ。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「レストランサービス技能検定」(連携企業等: 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会)

期間: 令和元年8月5日(月) 対象: 上記協会 協会員

内容: HRS指導担当者の講習会において当校の取り組みについて紹介した。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「令和元年度中堅社員研修」(連携企業等: 福岡県専修学校各種学校協会)

期間: 令和元年8月20日(火)～21日(水) 対象: 中堅教職員

内容: 学級経営・学生対応

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

教育の質の保証・改善、社会に対する説明責任、学校評価を通じたガバナンス改善に向けた自主的な取り組みを促進していくことを目的とし、学校の教育活動や学校運営の状況に対して外部の学校関係者による評価を行い、その結果を教育活動・学校運営に活用する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	・理念、教育方針・目標・育成人材像
(2)学校運営	・運営方針・事業計画・組織運営・人事、給与制度
(3)教育活動	・教育課程の編成方針、実施方針・教育課程・キャリア教育・授業
(4)学修成果	・就職率・資格の取得率・卒業生の社会的評価
(5)学生支援	・就職等進路に関する支援組織体制・退学率等の低減・学生相談
(6)教育環境	・施設、設備、教育用具等・実習、海外研修等・防災組織体制
(7)学生の受入れ募集	・学生募集・入学選考基準・学納金
(8)財務	・収支状況
(9)法令等の遵守	・法令に基づく学校運営・個人情報保護・自己評価・学校関係者
(10)社会貢献・地域貢献	・社会貢献、地域貢献の実施・ボランティア活動の奨励と支援
(11)国際交流	・国際交流の取り組み

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会を年間2回開催し、当該意見を教育活動その他の学校運営の改善等に活用する。

意見・質問:Webでのオープンキャンパスは行っているか。

活用:行っている。またオンラインでのガイダンスも行っている。更に参加者にとって参加しやすい方法を工夫していく必要がある。

意見・質問:授業は遠隔で行うなどコロナ対策を行っているか。

活用:休校にした1ヶ月はZoomによる遠隔授業を行った。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年11月1日現在

名前	所属	任期	種別
鶴田 勝彦	THE BASICS FUKUOKA 支配人	令和2年4月01日～ 令和4年3月31日	③
梅野 一生喜	株式会社西鉄ホテルズ シティホテル事業本部 宿泊部 グランド宿泊担	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
西原 慎太郎	西鉄旅行株式会社 総務部 部長代理	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
清水 妙子	株式会社JALスカイ九州 福岡空港本店 総務部 マネジャー	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
佐竹 恵一	株式会社JALグランドサービス九州 総務部 総務グループ係長	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
江口 哲郎	JR九州サービスサポート株式会社 常務取締役 駅事業部長	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
三堀 和弘	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	令和2年4月01日～ 令和4年3月31日	①
三浦 芳徳	公益財団法人 産業雇用安定センター 福岡事務所 参与	令和2年4月01日～ 令和4年3月31日	①
井上武之	県立高等学校長 経験者	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	②
松藤 大助	日本郵便株式会社 竹下郵便局 局長	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	①

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()))

URL: www.ibc.ac.jp

公表時期:令和2年11月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者との連携および協力の推進に資するため、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を、具体的に分かりやすく、且つ積極的に提供するものとする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・建学の精神・教育方針・校長名、所在地、連絡先等・学校の沿革
(2)各学科等の教育	・収容定員、在学学生数・カリキュラム、年間授業スケジュール・資格
(3)教職員	・教員の担当科目、担当学年
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・キャリア教育・企業実習・就職支援
(5)様々な教育活動・教育環境	・学校行事・課外活動(部活動等)

(6)学生の生活支援	・学生支援(健康診断、学生相談等)
(7)学生納付金・修学支援	・学生納付金 ・経済的支援措置(奨学金、授業料減免等)
(8)学校の財務	・収支状況
(9)学校評価	・自己点検、評価、学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	・海外実習 ・外国の学校等との交流 ・外国人留学生
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL:www.ibc.ac.jp 令和2年11月01日公表予定

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ホテル・ブライダル学科)										授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所	教員	企業等との連携					
分類			必修	選択必修	自由選択										講義	演習								
必修	選択必修	自由選択													実験・実習・実技									
1	○					レストランバンケットサービス	レストランの業務内容を理解し基本的なサービス技術を身に付ける	1通	60	4	○			○	○									
2	○					ソムリエ & バーテンダー	バー、ラウンジでの業務を理解、酒類の専門知識を習得。	1通	60	4	○			○	○									
3	○					フロントサービス	宿泊部門の基本的な業務を理解し、サービス方法の手順を実務知識として習得する。	1通	60	4	○			○	○									
4	○					ホテル総論	ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級の合格を目指すとともにホテルの各部署の役割を理解する。	1通	60	4	○			○	○									
5	○					ホテル英会話	ホテルスタッフとして必要な英語力を身に付ける。	1通	60	4	○			○	○									
6	○					TOEIC / 英検対策 I	TOEICの高得点取得、実用英語能力検定の合格を目指す。	1年	120	8	○			○	○									
7	○					面接対策	就職試験における面接試験に合格できる力を習得する。	1後2前	60	4	○			○	○	○								
8	○					ビジネスマナー	社会人として必要な心構えとマナーを取得する。	1前	30	2	○			○	○									
9	○					就職活動講座	就職活動の流れを知り、自己分析を行い就職できる力をつける	1通	60	4	○			○	○									
10	○					ホテル・ブライダル業界研究	ホテルブライダル業界で活躍される方の講話を聞き目指す将来像について考える	1前	30	2	○			○	○	○								
11	○					和のサービス	旬の食材や季節の行事、日本料理の特徴などを詳しく学ぶ	1前	30	2	○			○	○									
12	○					ブライダル総論	ブライダルについての基礎知識及び専門知識を説明・紹介する。	1前	30	2	○			○	○									
13	○					ブライダルセールス	ブライダルセールスについての基礎知識及び専門知識を説明・紹介する。	1通	60	4	○			○	○									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件 : 1706単位時間 (106単位) 学生の単位取得不可を予め見込んで、規定単位に若干の単位を上乗せすることで総単位を増やした。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方
法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。